

小児患者体験調査（アンケート調査）ご協力のお願い

～ 当院は患者さまの診療体験向上のための全国調査に協力しています ～

令和7年2月7日

熊本大学病院

病院長 平井 俊範

当院は、厚生労働省から「がん診療連携拠点病院」の指定を受けておりますが、国のがん対策の効果や進捗を評価するために、当院を受診された方に「**小児患者体験調査（アンケート調査）**」を行うよう、厚生労働省の委託を受けた国立がん研究センターから依頼され、これに協力をいたしております。

この調査では、2021年から2022年の2年間に当院を受診された小児患者さま（診断時の年齢が0歳以上18歳未満）とその保護者のうち、国立がん研究センターが無作為に抽出した方々へ調査票（アンケート）が郵送されます。

調査票の発送は、令和7年3月以降を予定しております。

アンケートの回答は、自由かつ無記名で、回答しないことで不利益が生じることは一切ありません。また、プライバシー保護のため、患者の皆さまに送付する際の封筒にも当院の病院名を記載しないこととしております。なお、回答は、国立がん研究センター調査事務局へ直接返送いただくようになっております。

国のがん対策をより向上させていくためには、患者さまの体験を直接お伺いすることがとても重要ですので、どうか、調査へのご協力をお願いいたします。

なお、本調査は適正な審査を経て行われておりますが、もしご自身の情報を使われたくない場合は、右記「院内がん登録データの利活用について」をご参照の上、本院の窓口にお申し出ください。

ご不明な点等ございましたら、以下の問い合わせ窓口にお電話にてお問い合わせください。

お手数をおかけしますが、どうぞご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

調査に関するお問い合わせ窓口

小児患者体験調査事務局（国立がん研究センター内）

TEL：03-3547-5201（自動音声後に、内線4328をダイヤル）

院内がん登録データの利活用について ～がん医療の向上のために～

◆ 院内がん登録とは

本院ではがん診療の実態を明らかにするため、「がん登録等の推進に関する法律」に基づき、がんと診断された患者様の基礎的なデータを集積しています。収集したデータは国立がん研究センターに氏名などの個人識別情報を削除した上で提出し、全国の病院における診療件数などの集計が報告書として公表されています。



院内がん登録について

<https://ganjoho.jp/public/institution/registry/hospital.html>



◆ 院内がん登録データの利活用（二次利用）について

国立がん研究センターに提供した院内がん登録データは、国全体で「より良いがん医療、がん対策」に役立てることを目的に、次のような二次利用に使われています。

- ・データのより詳細な集計や研究解析を行ってがんの実態を検討する
- ・全国規模で対象者を選び病院からアンケートをお送りして意見をうかがう など



◆ データの二次利用を拒否できる機会（オプトアウト）について

上記のような二次利用は定められた審査を経て行われるものですが、もしご自身のがん登録情報が二次利用に使われたくない場合は本院の窓口へお申し出ください。データの管理や制度の詳細は、国立がん研究センターがん情報サービスのホームページをご覧ください。必要に応じて下記のお問い合わせフォームをご活用ください。なお、個別の研究については、各研究者の所属機関における倫理審査委員会の指示に従い情報公開等を行います。



※オプトアウトとは… データ二次利用（研究・調査など）の対象者等が拒否できる機会を保障することによって、個別の同意を得ることを省略できる方法。

- ・国立がん研究センター 窓口：がん情報サービス お問い合わせフォーム
<https://contact.ganjoho.jp/form/pub/ganjoho/contact>
- ・本院 窓口：熊本大学病院 医事課 がん登録センター（096-373-5775）

